

子育ての方法



我が子には、思考が発達した人に、レベルが高い人に、立派な人に、成長して欲しいですね。では、どうすれば良いのか、考えてみましょう。



No.2



生まれたばかりの赤ちゃんがイライラして泣き叫んでいる時は「どうして欲しいの？泣き叫んでも誰も分からないよ。欲しい物があれば、目で教えて！分かった？」と何度も言ってみて下さい。人は幼い時から、欲しい物は目で追うので、自然と出来るようになりますね。満足すれば不満が減るので無駄に泣き叫ぶ事も減りますよね。

何故、この方法が使えるのかと言えば、誰でも何度も何度も生まれ変わりを繰り返しているのです。前世は大人だったので、説明すると赤ちゃんでも理解が出来るのです。しかし、泣き叫べば、暴れれば、言う事を聞いてしまう家族がひとりでもいれば、赤ちゃんはそれ以外の方法は、学ぶ必要が無いので全く成長が出来ないですよ。



No.3



ですから、大人になっても老人になっても暴れれば自分の思う通りになると勘違いしてしまうので、恫喝や恐喝、誹謗中傷やクレイマー、虐待やいじめ、DVやレイプ、あおり運転などの犯罪行為が平気で出来る大人になってしまいますよね。

それと、赤ちゃんには、たくさん話しかけ「おはよう。元気？体調はどう？気分はどう？ご機嫌かな？」などと、多くの会話をすれば、赤ちゃんは相手にして貰えるのが嬉しくて、言葉を覚えようとするし、赤ちゃんの対話力や対応力など様々な能力が鍛えられると思いませんか？



No.4



赤ちゃんや動物など、生まれた時から自分の身を守る為に、常に周りの人の表情や態度などを観察し、様々な判断をするので(見た目だけで勝手な判断をする)我が子に喜怒哀楽の表情を見せ、親の意思を伝えてみてはどうでしょうか？状況判断の練習にもなるし、思考が発達すると思いませんか？(その後、正しい観察の仕方を覚えれば)

「しつけ」は重要なので、言葉が話せるようになったら我が子に聞いてみる「あの人の行動は？言葉使いは？好き？嫌い？良い？悪い？どこが駄目だと思う？」「あなたの食べ方はどう？綺麗？汚い？」「あなたの態度は？それでいいの？」などと、数多くの質問してみれば、我が子は**第三者の目で自分を見る練習**になりますよね



No.5



第三者の目で冷静に自分を観察すれば、自分で自分の駄目な所、悪い所が分かりやすくなるので、自分で自分を修正する事が出来るようになると思いませんか？自分で学んだ事は一生忘れないので、これが正しい「しつけ」のやり方ですよね。

しかし、多く人は我が子に、自分だけの考えや基準、常識を押し付け、自分と同じように出来なければ、やらなければ「何を言っても出来ない馬鹿とか理解出来ない馬鹿と決め付け」我が子を罵倒する。文句を言う。殴る。蹴る。体罰をするなどのいじめや虐待をする。しつけと虐待の違いが分からない本物の馬鹿な人ですよね。



No.6



それに、何を言っても我が子がやらないのは、我が子が納得出来る説明をしていないから、我が子が必要だと思っていないから、我が子の思考レベルに合った説明をしていないからなどの理由があると思いませんか？我が子と一緒に原因や理由を探して、対策を試みてはいかがでしょうか。

それと、赤ちゃんの時から健康の為に、運動をする事は大事なので、体を使った遊びは大事ですよ。上手く出来た時は褒め、上手く出来ない時は「どうすれば上手く出来る？」「体の使い方は正しい？」などと質問をすれば、我が子は少しでも出来れば出来るほど、嬉しくなるので、勝手に試行錯誤を繰り返して練習をするので、運動能力や思考能力などの能力が鍛えられますよね。



No.7



勉強も同じで、毎日5分間でも机の前に座る練習をし、出来れば褒めるを繰り返せば、理解が出来た時や物事を知る楽しさ、嬉しさを知れば、「これはどうすれば良いの？教えて」と聞けば、我が子は得意になって教えてくれるので、説明の仕方も同時に学べますよね。

嬉しい言葉や気遣いの言葉、労いの言葉や感謝の言葉などを言われたらどうでしょうか。気分が良いですね。自分が良いと思った事は相手も同じですね。ですから、気分が良い言葉を我が子に常に語り掛ければ、我が子も自然と使えるようになり、多くの人と良い関係が作れると思いませんか？



No.8



それと、幼い時から責任をもって家事をやらせれば、様々な工夫や試行錯誤をするので、最短で最も効率が良い作業が出来るようになると思いませんか？ですから、生活が厳しかった人達ほど、子供の頃から自分でやるしかなかったのが、仕事が早く出来る人が多いのです。我が子を鍛えるかどうかで我が子の人生も大きく変わってしまいますよね。

生きていれば、どんな人でも様々な問題やトラブルは起きますよね。この問題やトラブルを解決しなければ、悩みになり解決するまで、ストレスが溜まっていきますよね。簡単に説明するなら、夏休みの宿題が終わらず、登校日が迫って来た時と同じですよね。宿題が終わるまで、落ち着いて休めないですよね。



No.9



ですから、子供の時から自分の問題やトラブルは自分で解決させ思考を鍛える事ですよね。何故この問題やトラブルが起きたと思う？原因は？原因が分かれば、どうすれば同じ問題を避けられる？どうすれば解決出来る？などと、ひとつずつ考えさせれば、答えが出せる子供が増えるし、答えが分かれば悩みが減りますよね。

最後に、思考レベル、知能レベル、心のレベルなど、その人の様々なレベルを上げるのには、正しい情報、正しい知識が多ければ多いほど、分析出来る内容が増えるので、考え方、考える視点、物事を判断をする基準など多くの事が変わるので、行動も変わりますよね。



No.10



考え方が変わる。これが成長ですよね。ですから、大人になっても老人になっても常に学んで考え方を柔軟に変えられる人に、成長が、進化が出来る人になりたいですよね。

子育ての方法



2026.02.16



みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所